

□ 要請番号 (JL02424B20)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	H105 看護師	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	・2025/2・2025/3・ 2026/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

チャンパサック保健科学短期大学

3) 任地 (チャンパサック県パクセー市) JICA事務所の所在地 (首都ビエンチャン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約1.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2005年にJICAの無償資金協力にて校舎改修と機材供与の支援を受けた。教員約90名、看護師コース(3年制定員50名、1.5年制定員25名)、助産師コース(3年制定員20名、1.5年制20名)、薬剤師コース(2年制定員50名)。医療コース(2年制定員25名)がある。過去にWHO、UNICEF、World Bankから支援を受けたことがある。2005年から2012年まで看護師隊員が4名活動していた。また技術協力プロジェクト「持続可能な保健人材開発・質保証制度整備プロジェクト」(2018-2023)において、3年制以上の課程を有する医療教育機関を対象に、2020年夏にラオスで初となる国家試験が実施された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ラオスにおける医療レベルは依然高くなく、特に地方部ではその傾向は高い。医療現場で活躍するスタッフの能力向上は重要であると同時に、ラオスの将来を担う医療人材育成は重要課題となっている。配属先では、2005年から2010年にかけて行われたJICAの技術協力プロジェクト「看護助産人材育成強化プロジェクト」と連携し、4名の隊員が活動を行ってきた。当時の職員が入れ替わったこともあり、教員の指導力向上、学生の理解促進を目的として今回の要請に至った。また実施中の技術協力プロジェクトと緩やかに連携しながら教育の質を向上させることも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 教員とともに授業を実施することにより、実技指導の向上を支援する。
 - 授業で使える教材や教具の改善を支援する。
 - より良い授業運営のための教員へのアドバイスとトレーニングを行う。
 - 学生の習得度評価をおこなうためのアドバイスを行う。
 - 学生の病院実習に同行し、アドバイスを行う。
- ※コロナ感染状況により活動内容には変更もあり得る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

車いす、ストレッチャー、血圧計、体重計、体温計、聴診器、解剖模型

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- 教員 5名(平均年齢37歳)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：(大卒) 保健医療 備考：配属先の指示による

[性別]：(女性) 備考：同僚がほとんど女性であるため

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：同僚への指導を行うため

[参考情報]：

- ・看護教育経験者、看護教員養成講習受講者

・

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(15～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】